

Jabra GN



## WeWorkなどシェアオフィス利用のチームに最適！ 会議室の大きさや、人数にあわせた使い方ができる ワイヤレス2台連結可能なスピーカーフォン

渋谷のシェアオフィス『WeWork渋谷スクランブルスクエア』に拠点を構えるのは、東急が立ち上げた新プロジェクト『Urban Hacks (アーバンハックス)』のチーム。彼らがそこで利用しているのが、ビジネス用スピーカーフォン『Jabra Speak 750』だ。なぜ、シェアオフィスで使うスピーカーフォンにSpeak 750を選んだのか？その選定理由を伺った。

### シェアオフィスの共用会議室で起こりがちな 「スピーカーフォンがなくて会議の質が低下」を解決！ 2台連結も可能で大人数での会議にも対応！

鉄道や不動産事業で知られる東急が、街づくりにおけるDX(デジタルトランスフォーメーション)を手掛ける新プロジェクト『Urban Hacks(アーバンハックス)』。東急の長い歴史の中でも初の試みとなるその一大プロジェクトの拠点は、渋谷のシェアオフィス『WeWork渋谷スクランブルスクエア』内にある。ここで彼らが愛用しているのが、ビジネス用スピーカーフォンSpeak 750なのだ。「WeWorkのような、会議室が共用となっているシェアオフィスで使うには、Speak 750がピッタリだったんです」

そう話すのは『Urban Hacks』のチームを率いる宮澤さん。

「共用会議室に自分たちのスピーカーフォンは常設できないので、使う時だけサッと持ち込めるポータブルタイプが必要でした。Speak 750なら、気軽に持ち運べるサイズな上に、音質もとても良い。何より、大きな会議室や6名以上で参加するようなWEB会議の場合には、ワイヤレスで2台連結することで端にいる人まで鮮明な音声で会話することができます。部屋の規模や参加人数にあわせた使い方ができる、この連結機能が一番の決め手でした。メンバー増員や専有スペースの拡大にも柔軟に対応できますし、選ぶならSpeak 750を一択でした」



東急

URBAN  
HACKS  
TOKYU CORPORATION

#### Company

Customer : 東急株式会社

Website : <https://www.tokyu.co.jp/index.html>

Country : 日本

#### Profile

1922年設立。東京都渋谷区に本社を置き、東京・神奈川エリアでの鉄道事業、都市開発事業をはじめ、暮らしに密着した幅広い事業を展開。2022年の創立100周年に向けて「街づくり」におけるDX(デジタルトランスフォーメーション)を手掛ける新プロジェクト『Urban Hacks(アーバンハックス)』を発足。年間11億人を超える東急線利用者など顧客接点を活かした、デジタルとリアルが融合したテクノロジーによる街づくりを進めている。

#### Jabra Solution

##### Jabra Speak 750

- 商品番号 7700-309(MS)/7700-409(UC)
- 標準価格 ¥48,400(税抜)
- 想定使用人数 1~6名





## 「え?」という聞き返しが減って、生産性が向上 話しやすさが、体感で30点から95点に

「Speak 750を使ってから明らかに会議の生産性が上がりました。会話のしやすさが30点から95点上がった感覚です」

Speak 750の音質について、宮澤さんはそう絶賛する。

「元々他社のスピーカーフォンを使っていたのですが、それは複数人で話す時やオープンスペースで話す時に声を綺麗に拾ってくれず、仕事では使えませんでした。そこで、2台連結できるSpeak 750に興味を持ち、無料トライアルに申し込むことにしました。他のJabraの製品を使ったことがあるので音質は信頼していましたが、実際に使ってみて会話のしやすさには感動しました。以前はWEB会議の最中に『え?』と聞き返されることが多かったのですが、その『え?』がなくなったんです!ウィークリーの定例会議でも明らかに反応が違い、すぐに導入を決定しました」

そして宮澤さんは音質の重要性について、こう語る。

「WEB会議において音質は重要です。議論が白熱してきたところで『え?』と聞き返しがあれば、話しが止まり、その瞬間に会議の生産性は落ちます。Speak 750なら複数人が同時に話しても聞こえやすく、WEB会議の質も量も上がります!大人数での会議でも使いましたが、スムーズに議論できました」

## WindowsでもMacでも、ZOOMでもTeamsでも どの環境でも直感的に使えて、説明書を読んだことがない

宮澤さんのノートPCはMacだが、Windowsを使っているメンバーもいるという。「今後も人が増えていくことを考えたら、OSや環境を問わず、誰にとっても使いやすいことが重要です」と、宮澤さんは語る。

「Speak 750ならどんな環境でも問題なし。MacにもWindowsにも対応していますし、USBでもBluetoothでも好きなほうで接続できます。利用するWEB会議システムもZOOMやMicrosoft Teams、Slackなど様々ですが、それら全てでスムーズに動作します。加えて、直感的に操作できる点も魅力です。初めてスピーカーフォンを使ったという別のメンバーも『このマークを押せばいいんですね?』とすぐに使いこなしました。おかげでまだ誰も説明書を読んでいません。それにミニマルなデザインもお気に入りです」

最後に、宮澤さんはWEB会議の可能性とデバイスの必要性について語ってくれた。

「WEB会議はますます必要とされるでしょう。やはり文字だけでは伝わらないことがあります。文字を超える何かがあるからこそ、WEB会議のシステムは急速に進化しているのではないのでしょうか?そして、進化するソフトウェアのポテンシャルを100%引き出す上でも、Speak 750は必要な存在です」

